

取引所 F X



# シストレ 365

## 操作説明書①

～ シストレ365インストール手順から自動売買までの流れ ～



## はじめに

お客様がFXブロードネット365の「シストレ365」を利用する場合にあたっては、お客様の責任のもと使用機器及び回線をご準備頂く必要がございます。

パソコン	OS	Windows Vista	Windows 7 / 8.1	Windows 10
	メモリ	推奨1GB以上		
	ディスク	100MB以上		
	ディスプレイ	解像度1024×768以上、256色以上		
	ブラウザ	Internet Explorer 6 以上		

※1台のパソコンで同時に複数ログイン、また同一のログインIDを使用し、複数のパソコンより同時にログインすることはできません。同時にログインを行った場合は障害が発生する可能性がありますので行わないで下さい。

# 目次

「シストレ365」とは	4
STEP1 取引の準備	7
シストレ365のインストール手順	7
シストレ365へのログイン	11
STEP2 ストラテジー(売買戦略)の構築	12
POINT1 売買シグナル	12
POINT2 ストラテジーの作り方	13
ストラテジー(売買戦略)を編集する	16
ストラテジー(売買戦略)を削除する	18
STEP3 バックテストをする	20
STEP4 自動売買を行う	26
シストレ365テクニカル指標計算式	31
シストレ365使用に関する注意事項	37

# シストレ365とは？

シストレとはシステムトレードの略で、投資を行う際に、主にテクニカル分析の数値などの組み合わせで一定の売買ルールを決定し、その売買ルールに基づいた取引を機械的に行うことを言います。

「シストレ365」はお客様が設定したルールに従い、自動的に売買を行うことができます。システムトレードと自動売買を両立したツールです。

ユーザーは「シストレ365」を利用することにより、感情によるその場その場の判断ミスを低減し、常に相場の動きを把握する義務から解放されます。

是非とも「シストレ365」をお客様の投資ツールの一つとして、お役立て下さい。

「シストレ365」で安定した運用が行えるかどうかはお客様の設定したルール次第です。必ず当マニュアルや約款・取引説明書をご熟読頂き、使用方法やリスク、注意点をよくご理解頂いた上での運用をお願い致します。

## ■取引環境

・ 取引の種類	取引所外国為替証拠金取引
・ 取引参加者	株式会社FXブロードネット
・ サービス名	FXブロードネット365
・ 取引コース	シストレ365コース

「シストレ365」はダウンロードされたお客様のパソコンで稼働し、お客様のユーザーID、パスワードにて、FXブロードネット365の取引プラットフォーム（以下取引プラットフォーム）にログイン致します。

そして設定されたルールのタイミング・内容で、取引プラットフォームに発注登録致します。取引プラットフォームに登録された注文は、FXブロードネット365取引画面と同様に取引所へ発注されます。



お客様のパソコンで「シストレ365」が起動していない場合は、自動売買は行われません。お客様のパソコンがダウンした場合や、何らかの理由で「シストレ365」がダウンした場合は、それまでに約定されたポジションと、そのポジションに対する指値・逆指値注文は残ります。ポジションを決済したい場合は、直接取引プラットフォームにログインし、決済して下さい。その他注意点は「シストレ365ご利用時のご注意事項」をご参照ください。

## ■トレード仕様

### <トレード手法>

ドテン売買  
 （ドテン売買とはこれまで持っていたポジションを決済したと同時に逆のポジションを新たに取る手法をいいます。）

### <注文方法>

シグナル発生時 ストリーミング注文  
 利食い条件設定時 指値注文  
 損切り条件設定時 逆指値注文

### <足種>

10分足・30分足・1時間足・4時間足・日足・週足

### <シグナル判定レート>

取引所から提供されるBidレート  
 （但し、実際の約定は売りはBidレート、買いはAskレートで約定します。）

基本的に「シストレ365」のトレード手法はドテン売買となります。買・売ポジション決済の決済条件及び利食い・損切りの条件を設定していない限りはポジションを持ち続け、反対のシグナルが出た際に、対象のポジションを決済し、反対のポジションを建てます。

#### ◆ナンピンについて

「シストレ365」ではポジションの買い足し、売り足し(ナンピン)は致しません。例えば買いポジションを保有している際に、続けて買シグナルが発生しても、新たにポジションは建てません。

ただし、買ポジションが決済された後に、買シグナルが発生した場合はポジションを建てます。

#### ◆残ポジションについて

自動売買を一度停止した後に、ポジションを残したまま、設定変更して起動した場合

①発生したシグナルが残ポジションと同じ通貨ペア→新しい設定枚数にポジションを調整します。

②発生したシグナルが残ポジションと違う通貨ペア→そのままポジションが残ります。

①の場合、残ポジションに指値・逆指値等が入っていた時、その注文は取り消されます。また新しい設定に利食い・損切りの設定があれば、残ポジションに対しても利食い・損切りの発注をします。

②の場合は決済注文に関しても変更せず、そのまま残ります。

詳細は「シストレ365ご利用時のご注意事項」をご参照ください。

#### ◆条件の優先順位

複数の条件が同時に発生した場合の優先順位は以下となり、優先順位の高い条件のみ発注されます。

- 1 買シグナル
- 2 売シグナル
- 3 買ポジションの決済シグナル
- 4 売ポジションの決済シグナル

例えば買シグナル・売シグナルが同時に発生した場合は買シグナルのみ発注されます。もちろん買シグナル・売シグナルが発生する前に決済シグナルが発生した場合は決済注文されます。利食い・損切り設定については、新規ポジション建て時に指値・逆指値を取引プラットフォームに発注する形になります。取引プラットフォームの機能で約定しますので、ご注意ください。詳細は「シストレ365ご利用時のご注意事項」をご参照ください。

#### ◆シグナル判断のタイミング

「シストレ365」は常時取引プラットフォームにログインしておりません。設定された足種に適したタイミングでログインし、シグナルが発生しているかを判断致します。

- ・ 10分足 毎時1分・11分・21分・31分・41分・51分にログインし、直前の足で判断します。
- ・ 30分足 毎時1分・31分にログインし、直前の足で判断します。
- ・ 1時間足 毎時1分にログインし、直前の足で判断します。
- ・ 4時間足 1時・5時・9時・13時・17時・21時の1分にログインし、直前の足で判断します。
- ・ 日足 月曜日は7時11分、火曜日～金曜日は7時56分(夏時間6時56分)にログインし、前日の足で判断します。
- ・ 週足 月曜日の7時11分にログインし、前週の足で判断します。

シグナル判断のタイミングで、シグナルが発生していた場合は、設定に沿った発注を致します。

※シグナルの分析はお取引をされるお客様の端末の時間で取引プラットフォームにログインします。そのため、お客様の端末の時間とFXTSサーバーの時間に差異がございますとご注文が正常に発注されない場合がございます。シストレ365をご利用の際は、端末の時間を正確に設定の上お取引頂きますようお願い致します。

#### ◆テクニカル計算開始日

自動売買およびシミュレーションで設定されるテクニカルは、足種により、計算開始日が異なります。

10分足:4日、30分足:8日、1時間足:15日、4時間足:60日、日足:1年、週足:7年

上記の日数分、遡った時点から計算した結果となります。

#### ◆注文が不成立の場合

発注した注文が何らかの原因で不成立となった場合は、次の足が成立するまで1分間隔で注文を繰り返します。

注文が不成立のまま次の足が成立した場合は、不成立であったシグナルは無効となり、次のシグナル発生まで注文は行われません。

#### ◆投資助言料(成果報酬)について

シストレ365(シストレ365コース)にて、決済時に利益が出た場合は、決済利益の20%(税込)を投資助言料として当社にお支払い頂きます。

決済利益が0もしくはマイナスの場合は発生しません。

但し、決済利益額が1ロットにつき750円未満の場合は、150円の投資助言料をお支払い頂きます。

決済利益額が1ロット当たり150円未満の場合、投資助言料が決済利益額を上回り、結果的にお客様の利益がマイナスになってしまいますので、ご注意ください。

例1      USDJPY 5ロットを85.00で新規買、86.00で5ロット決済した場合  
           決済利益 ¥50,000    投資助言料 ¥10,000                      お客様利益 ¥40,000

例2      USDJPY 5ロットを85.00で新規買、85.03で5ロット決済した場合  
           決済利益 ¥1,500      投資助言料 ¥750                              お客様利益 ¥750

例3      USDJPY 1ロットを85.00で新規買、85.01で1ロット決済した場合  
           決済利益 ¥100          投資助言料 ¥150                              お客様利益 ¥-50

#### ◆投資助言料の確定タイミング

投資助言料は決済時に発生致しますが、投資助言料の金額が確定するのは、一日の取引終了後のメンテナンス時間に確定致します。確定までは発生している投資助言料は、口座資産(有効証拠金)には反映されません。

投資助言料は確定時に口座資産から差し引かれますので、確定以前に投資助言料を含めた額を出金依頼されていた場合、出金可能額を超えた出金依頼となり、出金依頼が取り消されてしまいますので、ご注意ください。

同様に、ポジションを保有していた場合も、口座資産(有効証拠金)の額が投資助言料の確定後、変化いたします。ポジション維持が困難になる可能性がございますので、ご注意ください。

# STEP1 取引の準備

## シストレ365のインストール手順

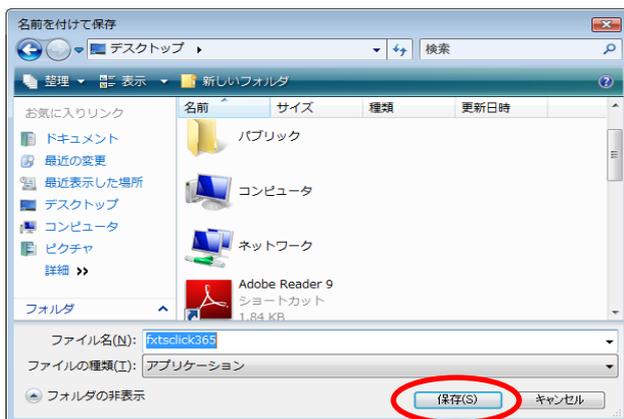
「シストレ365」をご利用いただくには、専用ソフトのインストールが必要となります。  
口座開設完了後、「FXブロードネット365」ホームページにアクセスし、ソフトをインストールして下さい。  
(シストレ365ダウンロードページURL : <http://365.fxtsys.com/login/>)



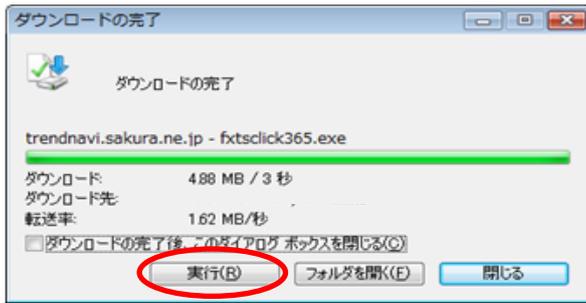
①「シストレ365」ダウンロードページを開き、下のほうにページをスクロールさせると左記画像の箇所があるので赤枠のボタンをクリックします。



②インストーラダウンロードボタンをクリックすると左記ダウンロード画面が表示されますので、「保存」をクリックします。



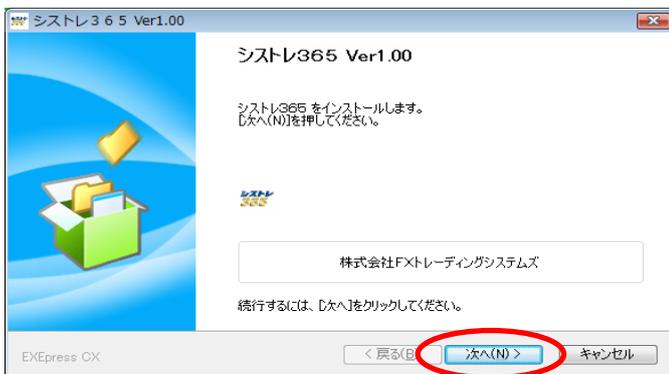
③保存先を選択し、「保存」をクリックします。



④ダウンロードが完了しましたら「実行」をクリックします。



⑤セキュリティの警告画面が表示されましたら「実行する」をクリックします。

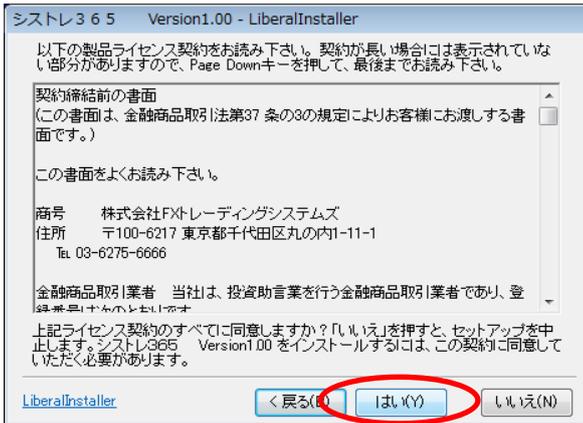


⑥「次へ」をクリックします。



⑦「次へ」をクリックします。





⑧利用規約をお読み頂き、同意頂けるようでしたら「はい」をクリックします。



⑨「次へ」をクリックします。



⑩「次へ」をクリックします。





⑪「開始」をクリックします。



⑫左記画像が表示されればインストールは完了です。  
インストールが完了するとデスクトップ上にアイコンが作成されます。

## シストレ365へのログイン

デスクトップ上に作成されたアイコンからシストレ365を立ち上げると、ログインID・パスワードの入力画面が表示されます。  
ログインIDとパスワードを入力し、「保存して閉じる」ボタンをクリックするとシストレ365へログインすることが出来ます。

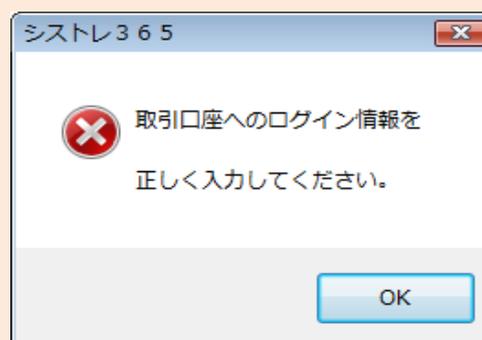
『口座開設手続き完了のご案内』に記載されているIDを入力して下さい。

FXブロードネット365取引プラットフォームのログイン画面からパスワードを取得して頂き、パスワードを入力してください。

### ログインができないときは・・・

「保存して閉じる」ボタンをクリック後、エラー画面が表示され取引画面にログインできない場合は、ご入力頂いたログインID・パスワードが間違っている可能性があります。

- ※ログインID・パスワードは半角英数入力です。  
(アルファベットは半角英数の大文字入力です。)
- ※お客様番号とログインIDは異なります。システムへのログインはログインIDを入力して下さい。
- ※前後にスペースが入っていないかご確認下さい。



### ※ご注意※

端末の設定時間を必ずご確認下さい。  
シグナルの分析はお取引をされるお客様の端末の時間で取引プラットフォームにログインします。  
そのため、お客様の端末の時間とFXTSサーバーの時間に差異がございますとご注文が正常に発注されない場合がございます。シストレ365をご利用の際は、端末の時間を正確に設定の上お取引頂きますようお願い致します。

## STEP2 ストラテジー(売買戦略)の構築

自動売買をするには、はじめにルールを考え、買い時、売り時のサインを出す設定をしなければなりません。シストレ365では豊富に取りそろえたテクニカル指標の中からご希望の条件を選択しストラテジー(売買戦略)を作成します。条件の組合せは自由ですのでオリジナルのストラテジーを簡単に作成することができます。

### POINT1 売買シグナル

シストレ365では下記の売買シグナルの設定が可能です。

**買シグナル**：新規「買」注文の条件を設定します。シグナルが出た際に売ポジションを保有していた場合は、売ポジションを決済すると同時に買ポジションを保有します。

**売シグナル**：新規「売」注文の条件を設定します。シグナルが出た際に買ポジションを保有していた場合は、買ポジションを決済すると同時に売ポジションを保有します。

**買ポジションの決済**：買ポジションを決済するときの条件を設定します。

**売ポジションの決済**：売ポジションを決済するときの条件を設定します。

**利食い設定**：決済注文の指値を「Pips」または「値段変動率(%)」で設定します。

**損切り設定**：決済注文の逆指値を「Pips」または「値段変動率(%)」で設定します。

- シストレ365でのトレード手法はドテン売買となりますので、反対のシグナル(「買」の場合は「売」、「売」の場合は「買」)が出た場合は対象のポジションを決済し、反対のポジションを建てます。従いまして、お客様ご自身で決済をされるか、買・売ポジション決済の決済条件及び利食い・損切りの条件を設定していない限りはポジションを持ち続けることとなります。
- 利食い及び損切りの設定値は、新規ポジションの約定レートからではなく、注文時の最新レートからの設定値となります。その為、新規ポジションの約定レートから想定されるレートと実際に利食い・損切りの注文されるレートは必ずしも一致するとは限りません。

### ※ 利食い・損切り設定にて、「Pips」設定をする際のご注意 ※

米ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は「0.5Pips」刻み、その他の通貨は「1Pips」刻みの為、設定内容によっては、発注時に適切な値に設定が変更されます。

《米ドル/円の場合(0.5Pips刻み)》

例)利食い「40.2Pips」と設定した場合、以下の内容に設定されます。

⇒売り決済・・・40.5Pips 買い決済・・・40Pips

例)損切り「40.2Pips」と設定した場合、以下の内容に設定されます。

⇒売り決済・・・40Pips 買い決済・・・40.5Pips

《ポンド/円の場合(1Pips刻み)》

例)利食い「40.5Pips」と設定した場合、以下の内容に設定されます。

⇒売り決済・・・41Pips 買い決済・・・40Pips

例)損切り「40.5Pips」と設定した場合、以下の内容に設定されます。

⇒売り決済・・・40Pips 買い決済・・・41Pips

## POINT2 ストラテジーの作り方

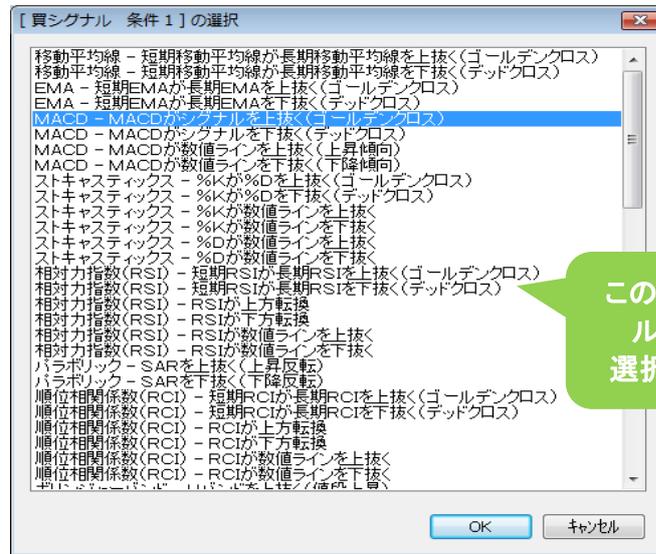
ストラテジーの作り方はとても簡単です。

予め用意された条件の中から好きな条件をお選びいただき、保存をするだけでオリジナルストラテジーを作成することができます。

### 《テクニカル指標》

- 移動平均線
- ボリンジャーバンド
- EMA
- 一目均衡表
- MACD
- 方向性指数(DMI)
- ストキャスティクス
- %R
- 相体力指数(RSI)
- ピボット
- パラボリック
- 順位相関係数(RCI)

### 《売買条件一覧画面》



この画面から  
ルールを  
選択します。

### ◆例えば、「買シグナル」、「売シグナル」、「利食い」、「損切り」を下記の条件で設定する場合

買シグナル：EMA－短期EMAが長期EMAを上抜く(ゴールデンクロス)

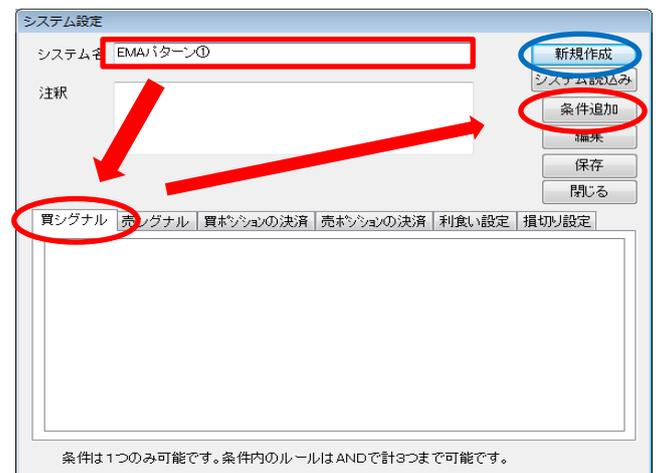
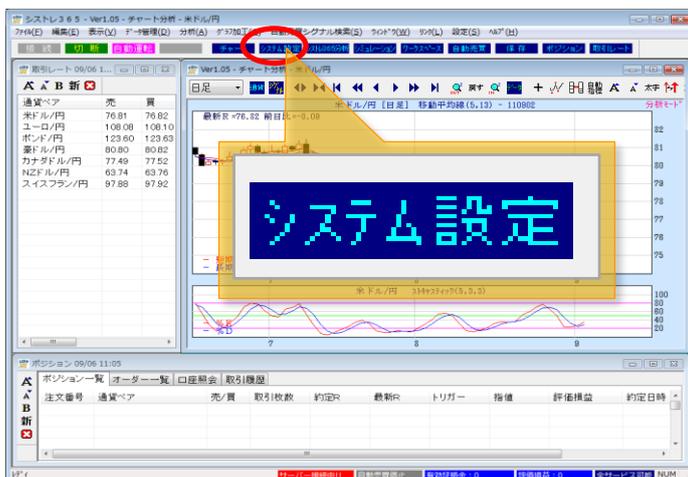
売シグナル：EMA－短期EMAが長期EMAを下抜く(デッドクロス)

利食い：利食いを40Pips(ピプス)

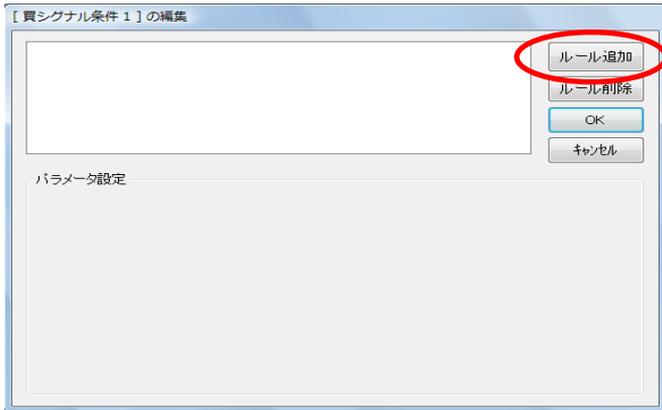
損切り：損切りを50Pips(ピプス)

(1) ツールバーから「システム設定」を選択します。

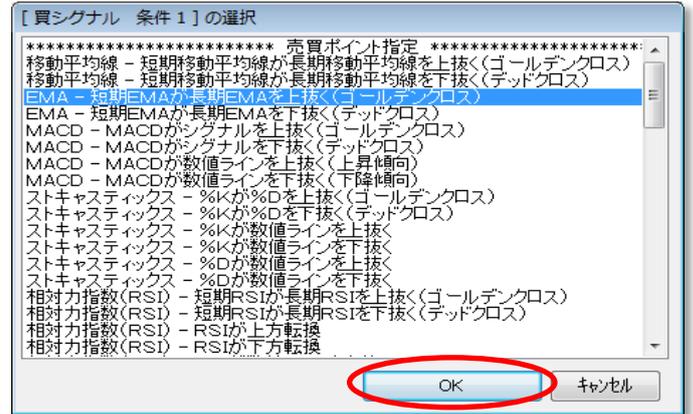
(2) ①「新規作成」をクリックすると下記画面が表示されます。システム名を入力し、売買シグナルのタブから「買シグナル」を選択します。  
②「条件追加」をクリックします。



(3) 編集画面で「ルール追加」をクリックします。

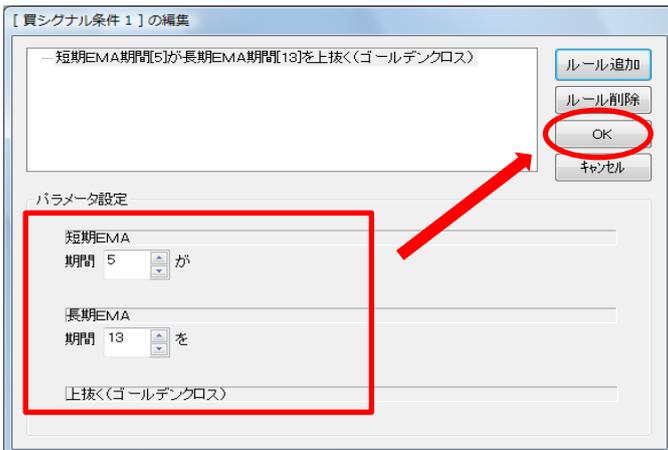


(4) 買シグナルに設定する売買ルールを選んで「OK」ボタンをクリックします。



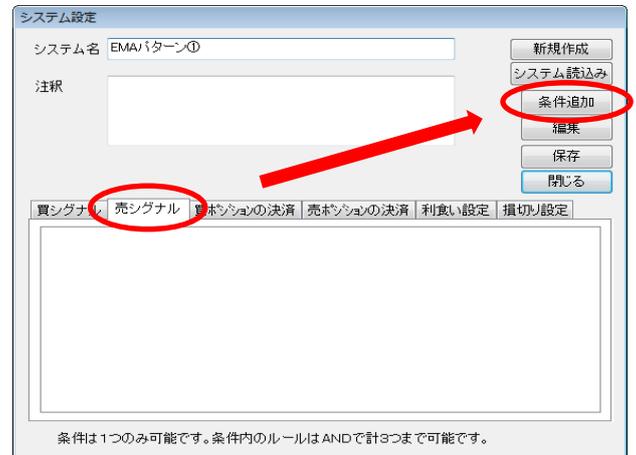
(5) 期間の設定をしたら「OK」をクリックします。

※同じ条件内のルールを追加する場合は  
下記の画面で **ルール追加** を選択して下さい。



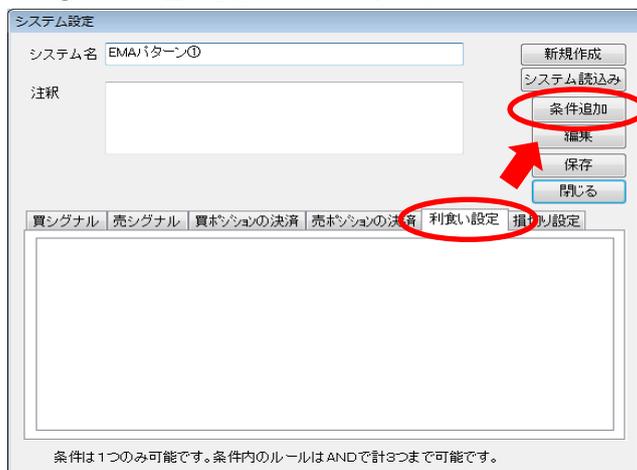
(6) ①下記画面に戻ったら売買シグナルのタブから「売シグナル」を選択します。  
②「条件追加」をクリックします。

※売買ルールの設定方法は(3)～(5)をご参照下さい。

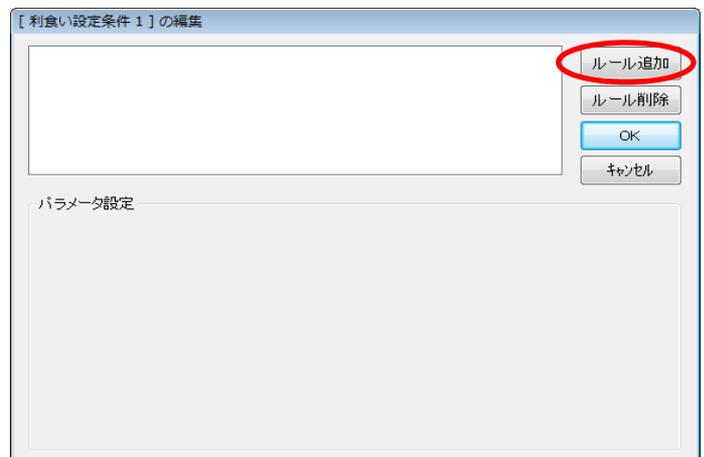


(7) ①次に売買シグナルのタブから「利食い設定」を選択します。

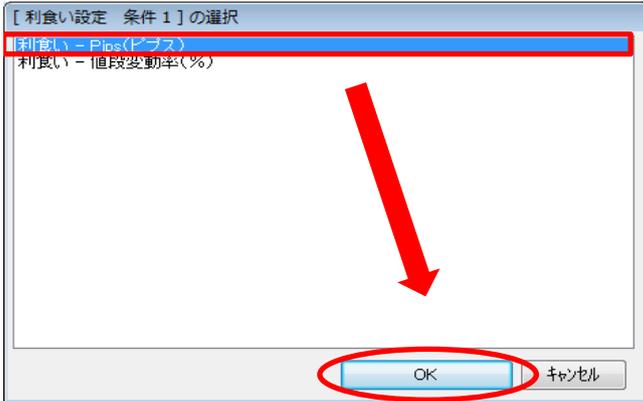
②「条件追加」をクリックします。



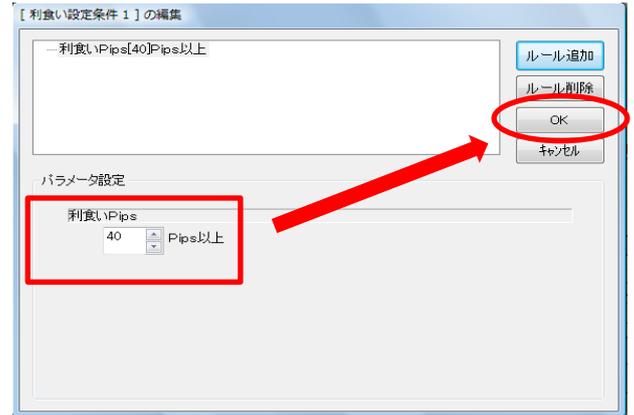
(8) 「ルール追加」をクリックします。



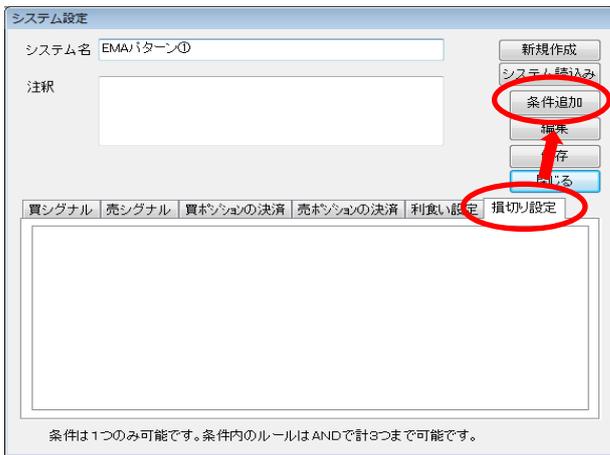
(9)「利食い-Pips(ピップス)」を選択し「OK」ボタンをクリックします。



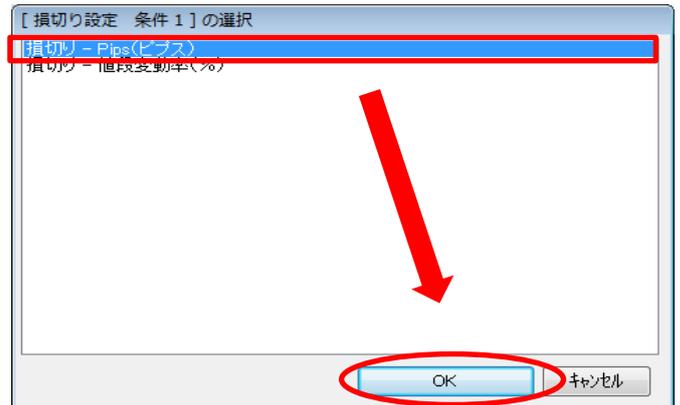
(10)利食いの値を「40(Pips)」に設定して「OK」ボタンをクリックします。



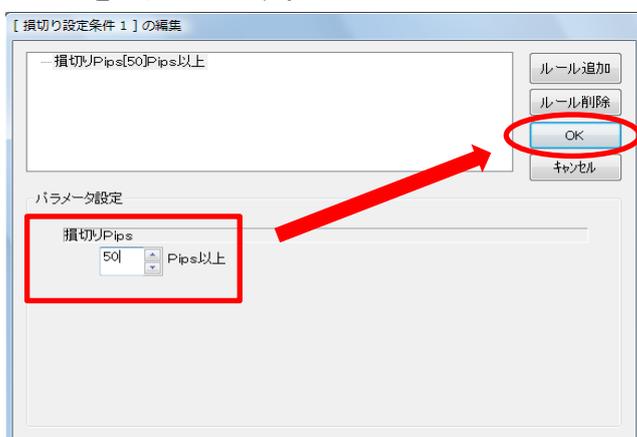
(11)①次に売買シグナルのタブから「損切り設定」を選択します。  
②「条件追加」をクリックします。



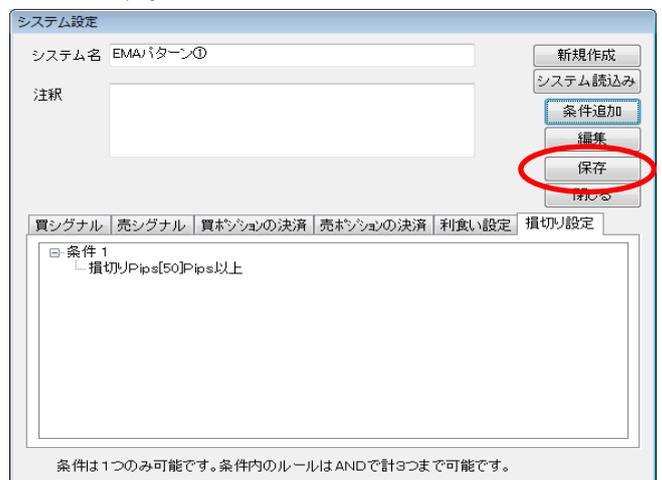
(12)「損切り-Pips(ピップス)」を選択し「OK」ボタンをクリックします。  
※下記画面までの画面推移は(8)をご参照下さい。



(13)損切りの値を「50(Pips)」に設定して「OK」ボタンをクリックします。



(14)設定が完了しましたら、「保存」ボタンをクリックします。



## POINT!

設定した条件で売買をした場合  
シグナル発生時には右記のような  
売買がされます。

- ①短期EMAが長期EMAを上抜いたら  
売ポジションを決済して買ポジションを保有。
- ②短期EMAが長期EMAを下抜いたら  
買ポジションを決済して売ポジションを保有。
- ③ポジション保有後に40Pips有利な方に相場が  
変動した場合に利食い決済。
- ④ポジション保有後に50Pips不利な方に相場が  
変動した場合に損切り決済。

## 条件内のルール

システム設定

システム名

注釈

新規作成  
システム読み込み  
条件追加  
編集  
保存  
閉じる

買シグナル | 売シグナル | 買ポジションの決済 | 売ポジションの決済 | 利食い設定 | 損切り設定

条件 1

- MACD期間[12][26]がMACDシグナル期間[9]を上抜く(ゴールデンクロス)
- 短期移動平均線期間[5]が長期移動平均線期間[20]を上抜く(ゴールデンクロス)

条件は1つのみ可能です。条件内のルールはANDで計3つまで可能です。

- 条件 1
  - MACD期間[12][26]がMACDシグナル期間[9]を上抜く(ゴールデンクロス)
  - 短期移動平均線期間[5]が長期移動平均線期間[20]を上抜く(ゴールデンクロス)

1つの売買シグナルに対し、設定できる条件は1つのみです。  
同じ条件内に複数のルールを設定した場合は条件内にある全てのルールを満たさないとシグナルは出ません。  
**※一つの条件内には最大3つまでのルールを設定することができます。**

## 作成したストラテジー(売買戦略)を編集する

システム設定

システム名

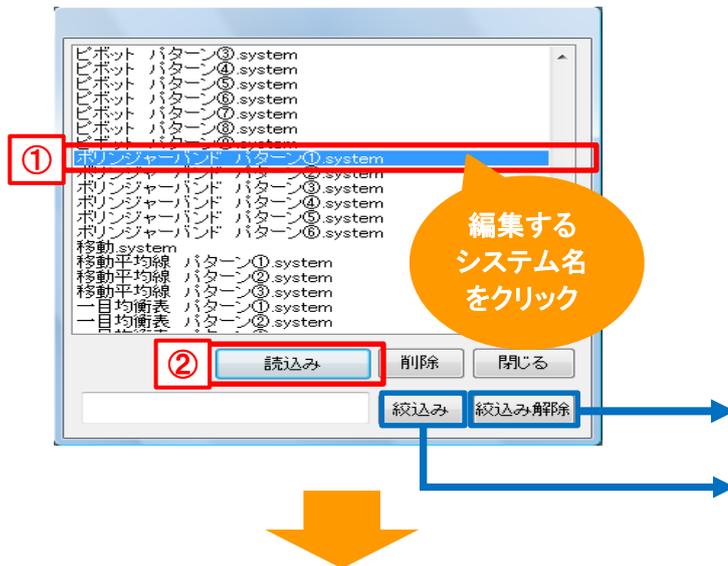
注釈

新規作成  
システム読み込み  
条件追加  
編集  
保存  
閉じる

条件は1つのみ可能です。条件内のルールはANDで計3つまで可能です。

「システム作成」画面から「システム読み込み」ボタンをクリックします。





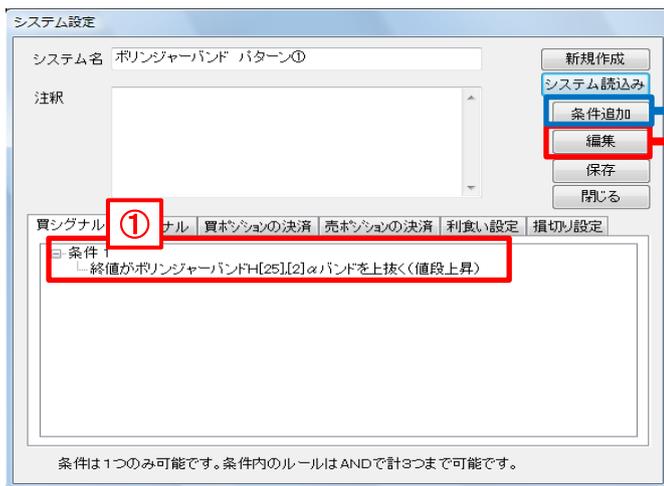
編集するシステム名(①)をクリックし、「読み込み」ボタン(②)をクリックします。

## POINT!

選択したいシステムを  ボタンで簡単に検索することができます。

《ご注意》

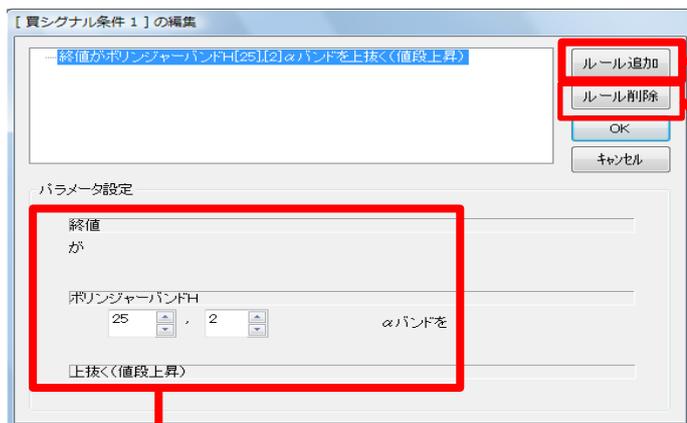
- ・検索対象は、システム名、注釈、売買ルールとなります。
- ・AND検索時の語句数の上限は、10個までとなります。
- ・検索後に再検索すると最初の検索後からさらに絞り込みが行われます。その為、最初から検索を行いたい場合は、 ボタンをクリック下さい。
- ・大文字小文字は区分されません。(例: rsi と RSI)
- ・全角半角は区分します。(例: RSI と RSI)



条件を追加する場合は「条件追加」ボタンをクリックします。

条件内のルールを変更または追加する場合は編集したいルール(①)をクリックし、「編集」ボタンをクリックします。

システム設定画面で  をクリックすると編集画面(下記画面)が表示されます。ルールを追加する場合は「ルール追加」ボタンをクリックします。また、設定していたルールを削除したい場合は「ルール削除」ボタンをクリックします。尚、ルールを変更する場合は、設定していたルールを一度削除してから新たにルールを設定して下さい。

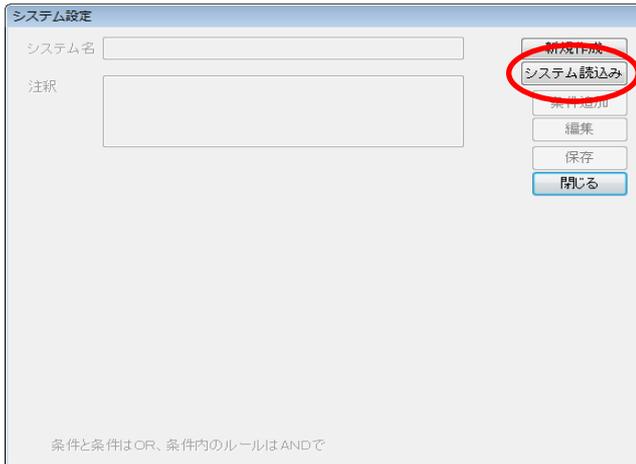


条件内のルールを追加する場合は  をクリックします。

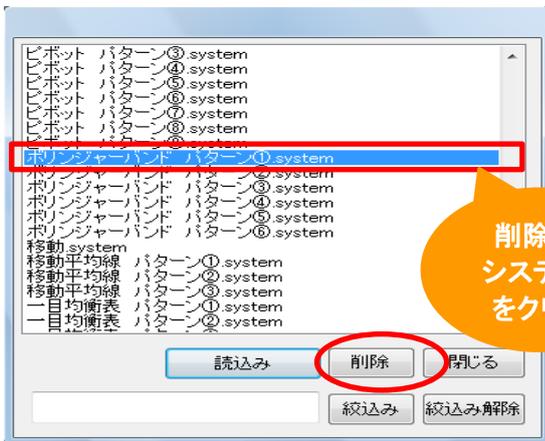
条件内のルールを変更(削除)する場合は  をクリックします。

パラメータを変更したい場合は直接値を入力し「OK」ボタンをクリックします。

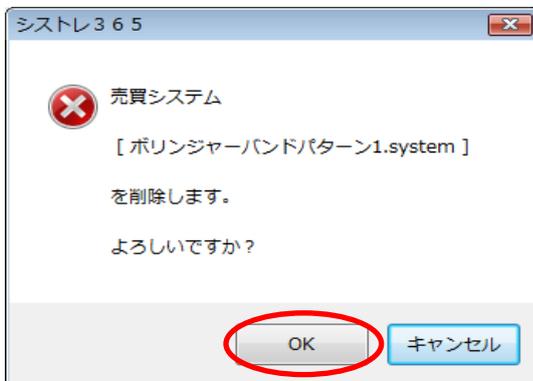
## 作成したストラテジー(売買戦略)を削除する



- ①「システム作成」画面から「システム読み込み」ボタンをクリックします。

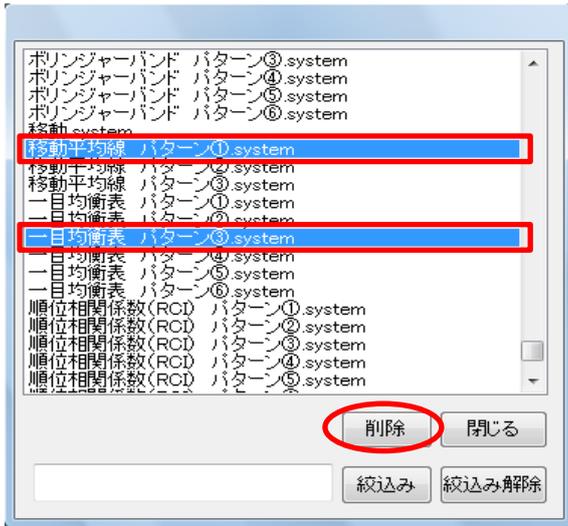


- ②削除するシステム名をクリックし、「削除」ボタンをクリックします。

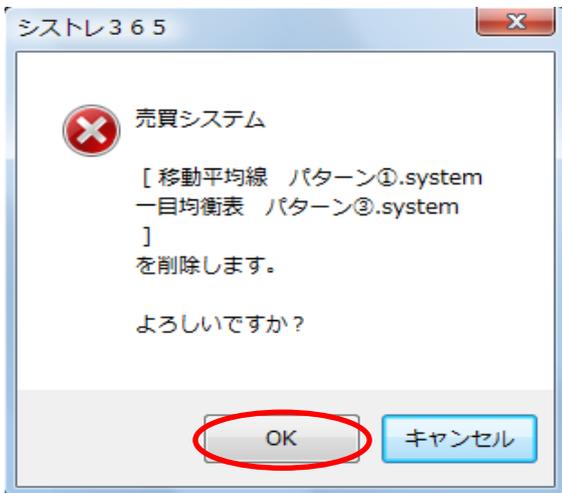


- ③「OK」ボタンをクリックすると保存していたストラテジーが削除されます。

## ◆同時に複数削除したい時



①パソコンキーボード上の【 Ctrl 】キーを押しながら、削除するシステム名をクリックし、「削除」ボタンをクリックします。



②「OK」ボタンをクリックすると保存していたシステムが同時に複数削除されます。

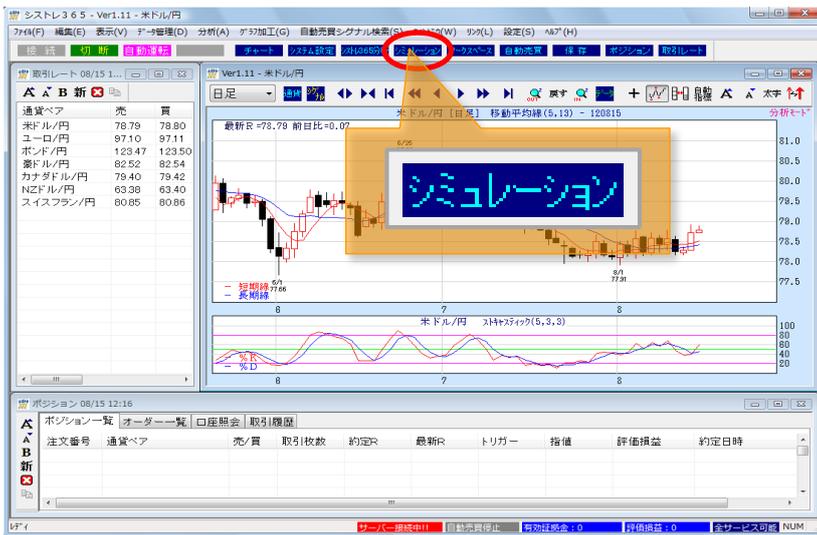
※自動運転中のシステムは削除できませんのでご注意ください。

# STEP3 バックテストをする

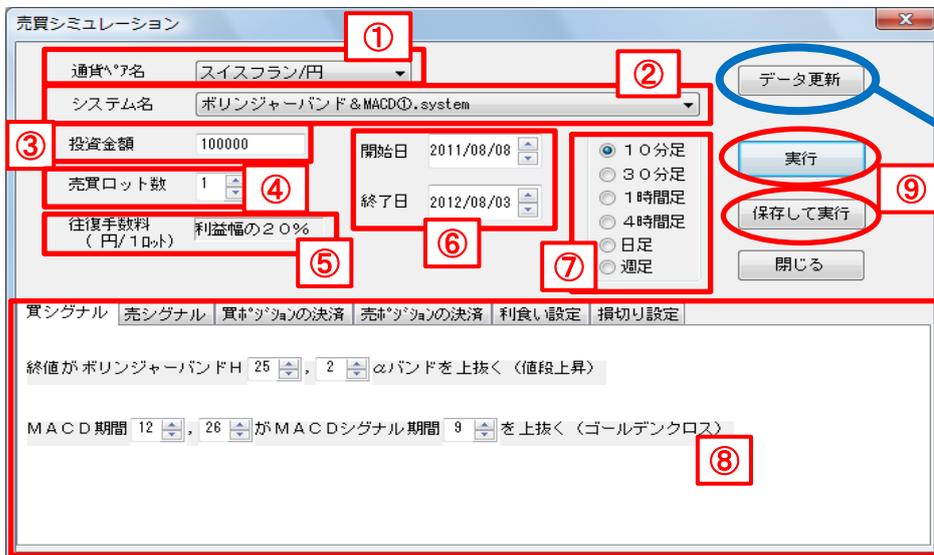
## バックテスト(シミュレーション)とは？

バックテストとは過去のデータを使ってあるルールで過去に売買を行っていた場合、どのような結果が得られていたかをシミュレーションすることです。自動売買を行う前にはこの『バックテスト』を実施しましょう。  
 ※シミュレーションと本番環境では様々な条件が異なります。説明・注意事項等をよくご理解頂いた上で、ご使用下さい。

ツールバーから「シミュレーション」を選択します。



通貨ペア、投資金額、ロット数、シミュレーション期間などを設定し、「実行」ボタンをクリックします。



シミュレーションをする前に...

シミュレーションを行う時は「データ更新」ボタンをクリックして下さい。

※シミュレーションを行うデータは自動更新されません。その為、「データ更新」ボタンをクリックせずにシミュレーションを行うと前回データ更新をした時のデータでシミュレーションが行われます。

### ①銘柄名

シミュレーションをする銘柄を選択します。

### ②システム名

プルダウンし、システム名を選択します。

## ③投資金額

シミュレーションする投資金額を入力します。

## ④売買ロット数

売買を行う枚数を入力します。

## ⑤往復手数料

利益額の20%が取引手数料として計算されます。

## ⑥開始日 / 終了日

シミュレーションを行う期間を設定します。

※10分足は1年以内、30分足、1時間足、4時間足は2年以内、日足・週足は5年以内で設定して下さい。設定可能範囲を超えますとエラーメッセージが表示されます。

## ⑦時間足

シミュレーションを行う時間足を選択します。

## ⑧パラメータ表示

(1)②で選択したシステムのパラメータが表示されます。

(2)表示しているシステムのパラメータ設定を変更することができます。

※弊社オリジナルシステムのパラメータは表示されません。また、変更もできません。

## ⑨実行 / 保存して実行

設定変更後、 ボタンをクリックします。 ボタンをクリックすると設定が保存されます。

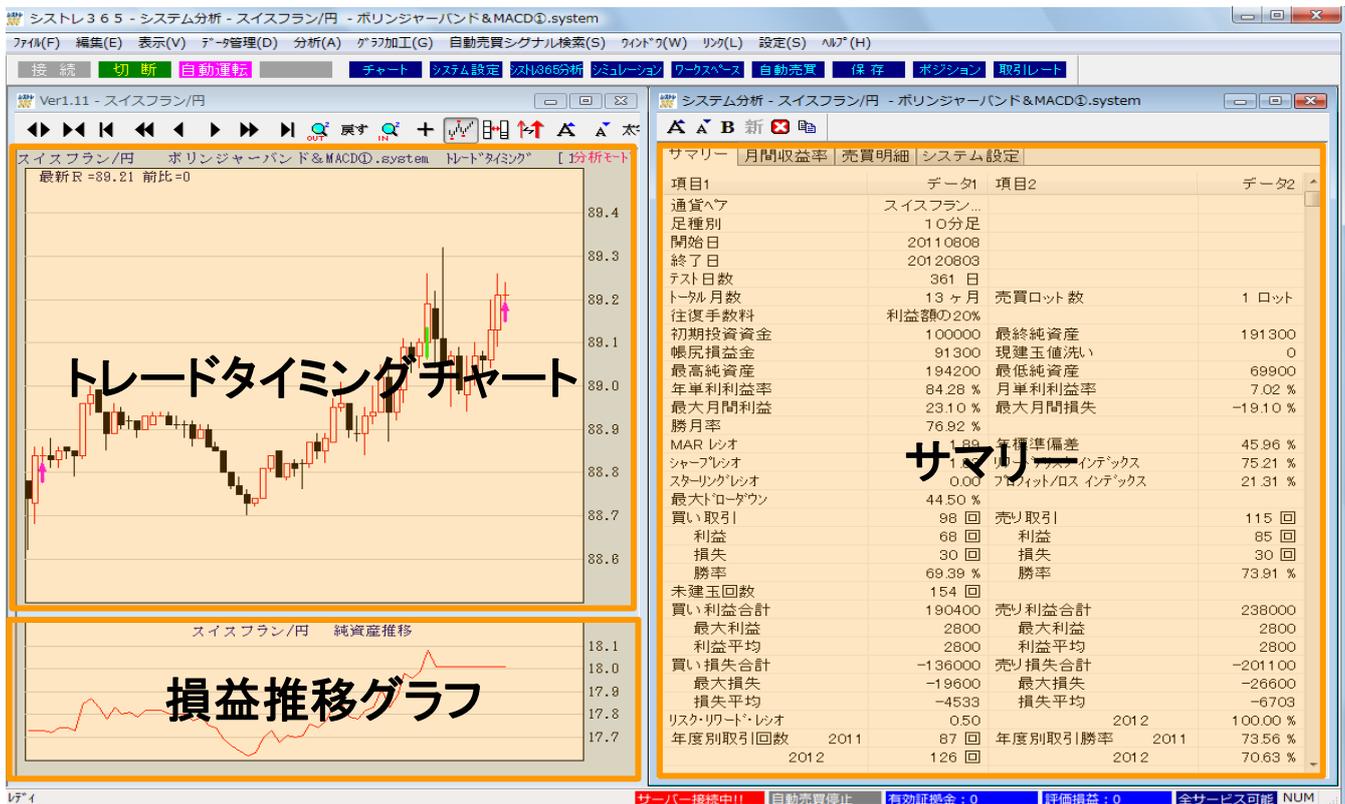
※自動運転中のシステムは、保存して実行することはできません。

## ※ご注意事項※

シミュレーションの期間を短く設定されますとシミュレーションができない場合があります。その場合は、エラーメッセージが表示されますので、シミュレーションの期間を長く設定してから再度シミュレーションを行って下さい。(例: 日足で期間を2011/1/25~2011/1/28で設定した場合などを指します。)

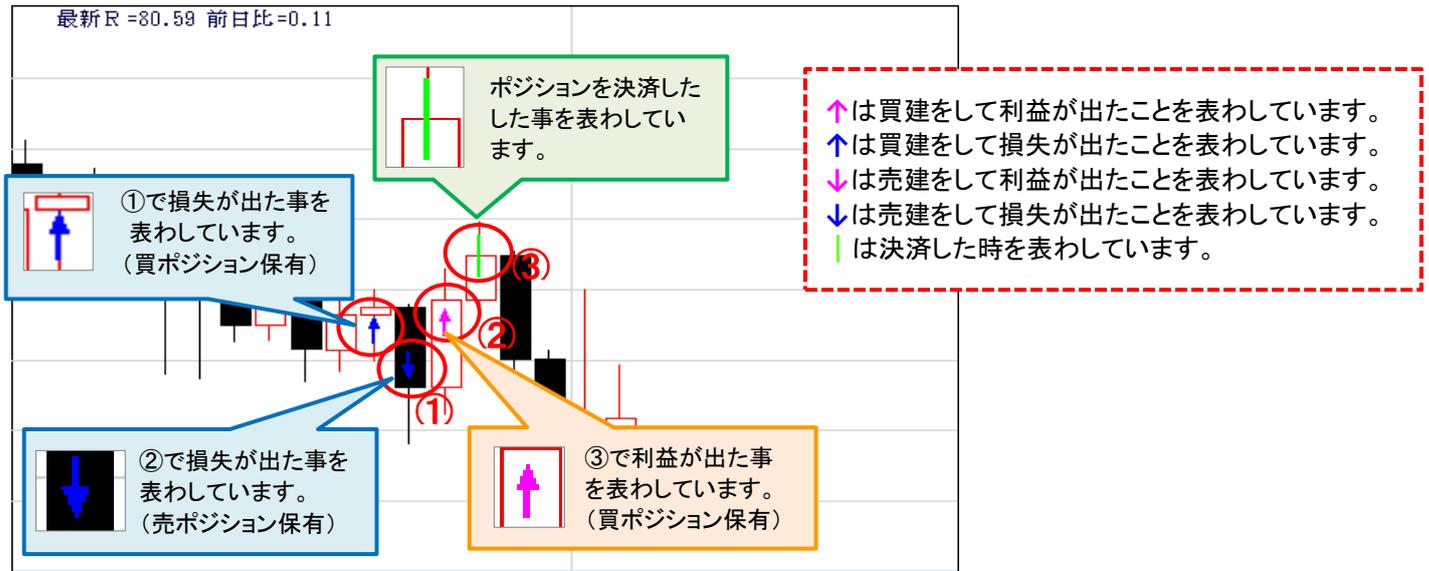
※シミュレーション期間の下限は使用するテクニカル指標によって異なります。

シミュレーションが終わるとテストの結果が表示されます。



## トレードタイミングチャート

トレードタイミングチャート画面の矢印の位置で売買のタイミングを確認します。  
チャートの矢印の向きは、買建(↑)、売建(↓)を表わしています。



チャートに表示される矢印の色は利益または損失を表わしています。  
シミュレーションにおいて、計算終了日時点でポジションを保有中の場合は、シミュレーションを行った時点のデータで利益または損失が出ているのかを表します。その為、ポジション保有時と足が完成した後とは利益と損失の色が逆転する場合があります。

## 損益推移グラフ

損益推移グラフでは合計損益額の推移を確認します。  
開始期間からグラフが上昇していれば利益が出ていることになりませんが、反対にグラフが下降していきその谷が深ければ深いほど損失額が大きいということになり、リスクが高い売買条件と言えます。



## サマリー

シミュレーションの計算が完了すると、サマリーが表示されます。  
「サマリー」タブではシミュレーション期間の取引回数や利益合計、損失合計、最大ドローダウンなどを確認します。

項目1	データ1	項目2	データ2
通貨ペア	スイスフラン...		
足種別	10分足		
開始日	20110808		
終了日	20120803		
テスト日数	361日		
トレード月数	13ヶ月	売買ロット数	1ロット
往復手数料	① 利益額の20%		
初期投資資金	100000	最終純資産	② 191300
帳尻損益金	91300	現建玉値洗い	0
最高純資産	194200	最低純資産	69900
年単利利益率	84.28%	月単利利益率	7.02%
最大月間利益	2310%	最大月間損失	-10%
勝月率	76.92%		
MAR レシオ	1.89	年標準偏差	45.96%
シャープレシオ	1.83	リワード/リスク インデックス	75.21%
スターリングレシオ	③ 0.00	プロフィット/ロス インデックス	21.31%
最大ドローダウン	④ 44.50%		
買い取引	98回	売り取引	115回
利益	68回	利益	85回
損失	30回	損失	30回
勝率	69.39%	勝率	⑤ 73.91%
未建玉回数	154回		
買い利益合計	190400	売り利益合計	⑥ 238000
最大利益	2800	最大利益	2800
利益平均	2800	利益平均	2800
買い損失合計	-136000	売り損失合計	-201100
最大損失	-19600	最大損失	-26600
損失平均	-4533	損失平均	-6703
リスクリワードレシオ	0.50	2012	100.00%
年度別取引回数	2011 87回	年度別取引勝率	2011 73.56%
	2012 126回		2012 70.63%

## POINT!

- ①初期投資資金  
この売買システムで運用する元金
- ②最終純資産  
テスト期間の最終日における純資産額
- ③最大ドローダウン  
最高純資産から最も損失が大きかったところまでの落ち込み幅(初期投資額に対する下落率)
- ④勝率  
取引で利益になった回数の取引回数に対する割合  
(勝ちトレード回数 ÷ 取引の回数 × 100)
- ⑤利益合計  
純利益の合計額
- ⑥損失合計  
純損失の合計額

## 上記シミュレーション結果より

初期投資資金・・・100,000円  
通貨ペア・・・・・・スイスフラン/円  
売買ロット数・・・・1ロット(1万通貨)  
期間・・・・・・2011年8月8日から2012年8月3日  
取引証拠金・・・・32,000円と仮定する  
ロスカット値・・・・取引証拠金の20%

《ロスカットについて》  
有効証拠金がロスカット値を割った時点でロスカットとなります。  
ロスカットされないためには、  
(取引証拠金 × 0.2) < 有効証拠金 であることが必要となります。

### ロスカットリスクを見るには・・・

このシミュレーションの結果、最大ドローダウンは45%となる為、45,000円の損失が最大のリスクとなっております。但し、初期投資資金が100,000円あれば55,000円残る為、ロスカットにはなりません。仮に初期投資資金が50,000円の場合は、残金は5,000円となる為ロスカットとなります。

重要なのは  
勝率よりも  
最大ドローダウン！

シミュレーションを行う上で重要なチェック項目の一つとして最大ドローダウンが挙げられます。最大ドローダウンとは、最高純資産から最も損失が大きかったところまでの落ち込み幅(初期投資額に対する下落率)で最大ドローダウンが分かれば、今後自動売買をしたときにリスク管理をする上で、どの程度の損失を許容しなければならないのかの参考とすることができます。

## 月間収益率

シミュレーションを実施した売買ルールにおける月間の利益率、損益額、純資産を表示します。

年-月	利益率	月間損益	純資産
11年08月	6.90%	6900	106900
11年09月	19.10%	19100	126000
11年10月	-19.10%	-19100	106900
11年11月	11.60%	11600	118500
11年12月	20.70%	20700	139200
12年01月	2.60%	2600	141800
12年02月	11.00%	11000	152800
12年03月	19.60%	19600	172400
12年04月	-8.10%	-8100	164300
12年05月	23.10%	23100	187400
12年06月	-11.90%	-11900	175500
12年07月	12.10%	12100	187600
12年08月	3.70%	3700	191300

### (1) 年-月

シミュレーションを行った年と月が表示されます。

### (2) 利益率

月間取引の利益の割合が表示されます。

### (3) 月間損益

取引した通貨ペアの月間の損益金額が表示されます。

### (4) 純資産

預託証拠金に決済損益を加算した金額が表示されます。

## 売買明細

シミュレーションを実施した売買ルールにおける各取引ごとの約定価格や損益額などの詳細を確認することができます。

売/買	建玉日	価格	落玉日	価格	通貨数	粗利益	投資助言料	純利益	累計
買	20110808	104.82	20110808	104.82	10000	3500	700	2800	-23800
買	20110809	104.47	20110810	104.82	10000	3500	700	2800	-21000
買	20110810	105.16	20110810	105.51	10000	3500	700	2800	-18200
買	20110810	106.86	20110810	107.21	10000	3500	700	2800	-15400
売	20110810	105.62	20110810	105.27	10000	3500	700	2800	-12600
売	20110811	104.37	20110811	104.02	10000	3500	700	2800	-9800
買	20110812	101.35	20110812	100.79	10000	-5600	0	-5600	-18200
売	20110812	100.79	20110812	100.44	10000	3500	700	2800	-15400
売	20110815	97.24	20110815	96.89	10000	3500	700	2800	-12600
売	20110815	96.86	20110815	96.51	10000	3500	700	2800	-9800
買	20110816	98.13	20110816	98.48	10000	3500	700	2800	-7000
売	20110817	96.32	20110817	95.97	10000	3500	700	2800	-4200
買	20110822	97.48	20110822	97.83	10000	3500	700	2800	-1400
買建(売建)	20110824	96.61	20110824	96.84	10000	-2300	0	-2300	-3700
買	20110824	96.84	20110824	96.69	10000	-1500	0	-1500	-5200
売	20110824	96.69	20110825	96.88	10000	-1900	0	-1900	-7100

### ① 売/買

ポジションが買いか売りかの区別を表示します。

### ② 建玉日

ポジションが建った日付

### ③ 価格

新規約定価格

### ④ 落玉日

ポジションを決済した日付

### ⑤ 価格

決済約定価格

## ⑥粗利益

取引における損益額

## ⑦投資助言料

売買利益の20% (損失の場合は0円)

## ⑧純利益

粗利益額から手数料を差し引いた額

## ⑨累計

累計損益額

## ⑩買建(売建)

建玉中の場合に表示されます。(建玉中の場合はシミュレーション計算終了時点のレートが表示されます)

## システム設定

シミュレーションを実施した売買ルールにおけるパラメータを確認することができます。

サマリー	月間収益率	売買明細	システム設定
①	システムルール ボリンジャーバンド & MACD①.system		
②	< 売買システム > 買シグナル 条件 1 終値がボリンジャーバンドH[25],[2] $\alpha$ バンドを上抜く(値段上昇) MACD期間[12],[26]がMACDシグナル期間[9]を上抜く(ゴールデンクロス) 売シグナル 条件 1 終値がボリンジャーバンドH[25],[2] $\alpha$ バンドを下抜く(値段下降) MACD期間[12],[26]がMACDシグナル期間[9]を下抜く(デッドクロス) 買ポジションの決済 売ポジションの決済 利食い設定 条件 1 利食いPips[35]Pips以上 損切り設定 <END>		

## ①システムルール

設定したシステム名が表示されます。

## ②売買システム

設定したパラメータが表示されます。

### ※ご注意※

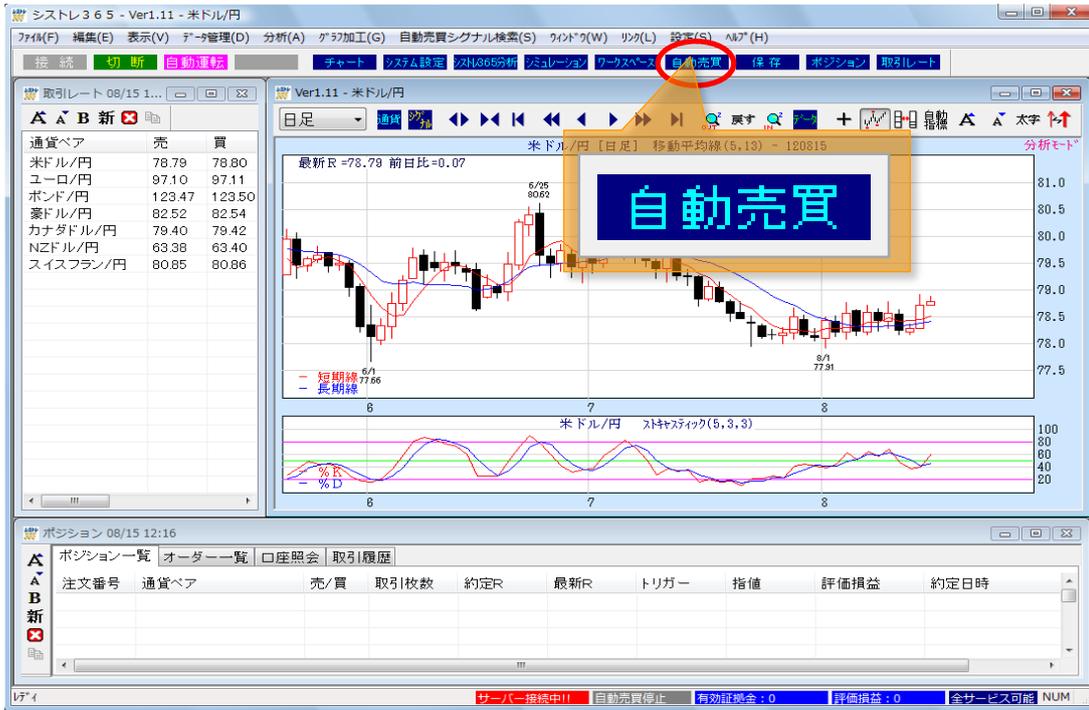
- (1) シミュレーションでの約定価格は全てBID(売)レートでの約定となります。本番環境ではスプレッド(BID、ASKの差)が存在しますので、収益が悪化致します。
- (2) シミュレーションではロスカット及び強制決済は考慮されておりません。  
その為、最終純資産がプラスになっていてもシミュレーションを実施した期間に大きな損失が出ている場合、実際の取引においてはロスカットや強制決済が執行される場合もございますのでご注意ください。
- (3) 設定されたシステムでは、ローソク足が完成した時点でシグナルが発生しますが、シミュレーションや本番での自動売買は、シグナルが発生した次の足の始値で売買執行いたしております。  
また、シミュレーションでは始値で売買成立いたしておりますが、本番での自動売買は、発注のタイミングによって、約定価格がシミュレーションと異なる場合がございます。

# STEP4 自動売買を行う

シミュレーションをした結果、構築したストラテジー（売買戦略）の有効性が高いと判断したならば、いよいよ自動売買の実践です。

## 自動売買を設定する

ツールバーから「自動売買」を選択します。



自動売買設定画面に必要項目を入力し、「保存終了」ボタンをクリックすると自動売買設定が保存されます。

**自動売買設定**

有効証拠金 20987 円 ①

登録された通貨ペアのロット数が、新規注文可能額を超える場合のオーダーはキャンセルされます。

新規注文可能証拠金 3987円

通貨ペア合計の取引証拠金 44000円

保存終了 キャンセル

通貨ペア・売買	時間足	Lot
② 米ドル/円	③ ボリンジャーバンドパターン①.system	④ 日足 1
② ポンド/円	③ DMJパターン③.system	④ 1時間足 1
③ なし		⑤ 0
④ なし		0
⑤ なし		0

※上記画面はメニューバーの「設定」→「自動売買設定」からも表示して頂けます。

### ①有効証拠金

口座資産から評価損益と出金依頼額を差し引いた金額が表示されます。

### ②通貨ペア

取引を行う通貨ペアを選択します。

※最大5通貨ペアまで設定が可能で、同じ通貨ペアを複数設定することは出来ません。

### ③システム名

システム名(ストラテジー)を選択します。

### ④時間足

10分足・30分足・1時間・4時間・日足・週足の中からご希望の時間足を選択します。

### ⑤売買数量

お取引を行う数量(単位=枚)を入力します。

※1回の発注可能枚数の上限は100枚となります。

## 自動売買を開始する

ツールバーから「自動運転」ボタンをクリックします。



自動売買設定画面で必要項目を入力し、「売買スタート」ボタンをクリックします。  
 (自動売買設定画面の各項目の説明については24ページをご参照ください。)

※上記画面はメニューバーの「リンク」→「自動売買スタート」からも表示して頂けます。



「売買スタート」ボタンをクリックすると自動売買が開始します。

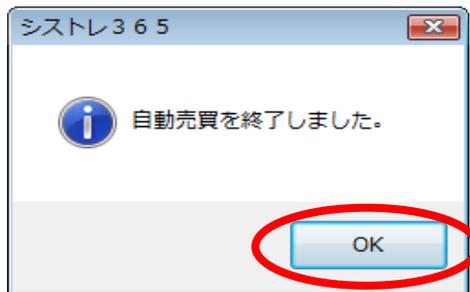
**自動運転中!!**

自動売買システムが起動するとココ  
 に表示されます。

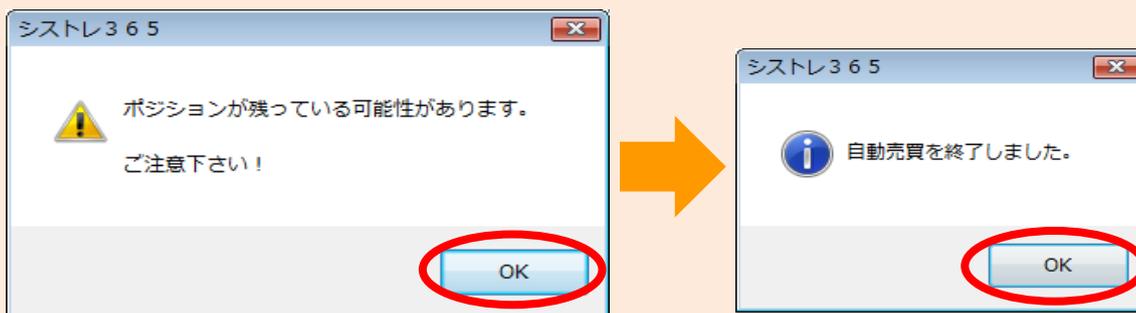
※自動運転中の売買システムは設定の変更ができません。

## 自動売買を終了する

自動売買を停止する場合は、ツールバーから「運転停止」ボタンをクリックします。



◆ポジションが残っている場合は下記の確認画面が表示されます。



**※ご注意※**

- (1) 自動売買運転中に運転を停止してしまいますと自動売買は行われませんので、ポジションが残っている場合はポジションの持ち越しにご注意下さい。  
また、お客様のパソコンがダウンした場合や、何らかの理由で「シストレ365」が切断されてしまった場合なども同様に自動売買は行われません。  
この場合は、それまでに約定されたポジションが残り、更にそのポジションに対する指値・逆指値注文が登録されている場合はその登録注文も残ります。
- (2) シストレ365では、チャート分析をBID(売)レートで行います。  
その為、買い決済の利食い・損切りを入れている場合、ASK(買)レートでは指定レートに達していなくても、BID(売)レートで指定レートに達している際は、次のシグナル判定時にBID(売)レートをみて、指定レートに達していると判断し約定されますので予めご了承ください。

例) 売り注文に対して買いで利食い78.000を発注した場合

- ① ASK(買)レートは78.005で指定レートに達していない
- ② BID(売)レートは78.000で指定レートに達している

この場合、決済注文の売買区分はASK(買)の為、約定はされないが、BID(売)レートが指定レートに達しているため、次のシグナル判定時に成行で決済されます。

# シストレ365テクニカル指標計算式

## 平均変動レンジ (ATR)

$$\text{ATR} = \text{MA}(\text{TR}, \text{Simple}, n)$$

MA=移動平均

Simple=単純平均

n=期間

TR=3つのうちの最大値 {ABS(HI-LO), ABS(HI-CL(1)), ABS(CL(1)-LO)}

ABS=絶対値

HI=本日の高値

LO=本日の安値

CL(1)=前日の終値

## ADオシレータ (ADOS)

$$\text{ADオシレーター} = [(\text{高値} - \text{始値} + \text{終値} - \text{安値}) \div (\text{高値} - \text{安値}) \div 2] \div n$$

n=期間

## 相対力指数 (RSI)

$$\text{RSI} = 100 - 100 / (1 + \text{RS})$$

RS=AG/AL

AG=n期間中で前日比上昇した日の上昇幅の合計

AL=n期間中で前日比下降した日の下降幅の合計

## パラボリック (SAR)

$$\text{SAR} = (\text{ep} - \text{直前のSAR}) \times \text{AF} + \text{直前のSAR}$$

ep=極大値

PTPが買いサインを示している期間の最高値

PTPが売りサインを示している期間の最高値

AF=加速因子(0.02 ≤ AF ≤ 0.20)

買の場合

$$\text{SAR} = (\text{HHI}(1) - \text{SAR}(1)) \times \text{AF} + \text{SAR}(1)$$

HHI=期間の最高値

HI=高値

HI > HHI かつ AF < MaxAFのとき

$$\text{AF} = \text{AF} + 0.02$$

売の場合

$$\text{SAR} = (\text{LO}(1) - \text{SAR}(1)) \times \text{AF} + \text{SAR}(1)$$

LLO=期間の最安値

LO=安値

LO < LLO かつ AF < MaxAFのとき

$$\text{AF} = \text{AF} + 0.02$$

## 方向性指数 (DMI)

---

$+DI = (\text{直近}n\text{日間の}(+DM)\text{の平均}) \div \text{直近}n\text{日間ATR}$   
 $-DI = (\text{直近}n\text{日間の}(-DM)\text{の平均}) \div \text{直近}n\text{日間ATR}$   
 ATR=平均変動レンジ  
 +DM、-DMの計算式=  
 $HiDiff = HI - HI(1)$  (HI=直近の高値、HI(1)=直前の高値)  
 $LoDiff = LO(1) - LO$  (LO=直近の安値、LO(1)=直前の安値)  
 if ( HiDiff < 0 and LoDiff < 0 ) or ( HiDiff = LoDiff ) then  
     +DM = 0、-DM = 0  
 if ( HiDiff > LoDiff ) then  
     +DM = HiDiff、-DM = 0  
 if ( HiDiff < LoDiff ) then  
     +DM = 0、-DM = LoDiff

## 平均方向性指数 (ADX)

---

最初の計算式

$ADX = \text{SUM}(DX, n) \div n\text{期間}$   
 $DX = \text{ABS}((+DI) - (-DI)) \div ((+DI) + (-DI))$   
 SUM=DXのn期間の合計

次からの計算式

$ADX = \{ADX(1) \times (n-1) + DX\} \div n\text{期間}$   
 ADX(1)=直前のADX  
 DX=当日のDX

## コモディティ・チャンネル・インデックス (CCI)

---

$CCI = (TP - MATP) \div (MDTP \times 0.015)$   
 $TP = (HI + LO + CL) \div 3$   
 HI= 高値  
 LO= 安値  
 CL= 終値  
 $MATP = MA(TP, \text{Simple}, n)$   
 MA=移動平均  
 Simple=単純平均  
 n=期間

$$MDTP_x = \frac{\sum_{i=x-n}^x \text{abs}(TP_i - MATP_x)}{n}$$

MDTP stands for Mean Deviation of Typical Price  
 abs=絶対値

## レイト・オブ・チェンジ (ROC)

---

$ROC = (CL \div CL(n)) \times 100$   
 CL=最新の終値  
 CL(n)=n期間前の終値

## 標準偏差 (STD)

---

標準偏差( $\sigma$ ) = 分散( $\sigma^2$ )の平方根

$$\sigma^2 = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2$$

分散とは、n期間の各値と平均の差の2乗の値を全部足したものをn期間で割る値のことで、  
n=期間

$$\text{平均 } \bar{x} = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i$$

## アルティメイト・オシレータ (ULT)

---

if ( Y1 = 0 or Y2 = 0 or Y3 = 0 )

ULT(%) = 0

else

ULT(%) = { (X1 / Y1) × 4 + (X2 / Y2) × 2 + (X3 / Y3) } ÷ 7 × 100

X1 = Average (CL - TrueLow, Period1)

X2 = Average (CL - TrueLow, Period2)

X3 = Average (CL - TrueLow, Period3)

Y1 = Average (TR, Period1)

Y2 = Average (TR, Period2)

Y3 = Average (TR, Period3)

CL = 直近の安値

TrueLow = Lower { 直近の安値, 直前の終値 }

Period1 = n期間

Period2 = n期間 × 2

Period3 = n期間 × 4

TR = 3つのうちの最大値 { ABS (HI - LO),  
ABS (HI - CL(-1)),  
ABS (CL(-1) - LO) }

## モーメントム (MO)

---

MO = CL - CL(n)

CL = 最新の終値

CL(n) = n期間前の終値

## ワイルダー・ボラティリティ (VOLW)

---

ワイルダー・ボラティリティ (VOLW) = MA (TR, Simple, n)

MA = 移動平均

Simple = 単純

n = 期間

次からの計算式

VOLW = { VOLW(1) × (n - 1) + TR } / n

VOLW(1) = 直前のVOLW

TR = 3つのうちの最大値 { ABS (HI - LO), ABS (HI - CL(-1)), ABS (CL(-1) - LO) }

## 移動平均線 (MOV)

---

$$\text{MOV} = (\text{CL}(1) + \text{CL}(2) + \dots + \text{CL}(n)) \div n$$

CL=終値  
n=期間

## 指数平滑移動平均線 (EMA)

---

$$\text{EMA} = \alpha \times \text{CL}(1) + (1 - \alpha) \times \text{EMA}(1)$$

$\alpha$  (平滑化係数) =  $2 \div (n + 1)$   
n=期間  
CL(1)=直前の終値  
EMA(1)=直前のEMA

EMAは2番目から計算する。1番目のEMAはCLの値とする。

## MACD (MACD)

---

$$\text{MACD} = \text{EMA}(\text{CL}, n1) - \text{EMA}(\text{CL}, n2)$$

シグナル = MA(MACD, Simple, n3)  
オシレーター = MACD - シグナル

EMA=指数平滑移動平均  
CL=終値  
MA=移動平均  
Simple=単純  
n1=短期EMAの期間  
n2=長期EMAの期間  
n3=シグナル期間

## %R (PCR)

---

$$\%R = (n \text{日間の最高値} - \text{当日終値}) \div (n \text{日間の最高値} - n \text{日間の最安値}) \times 100 - 100$$

## ストキャスティクス (STOCH)

---

$$\%K = (\text{CL} - \text{LLV}(n)) \div (\text{HHV}(n) - \text{LLV}(n)) \times 100$$

$$\%D = \text{MA}(\%K, \text{Simple}, n)$$

$$\text{SD} = \text{MA}(\%D, \text{Simple}, n)$$

n=期間  
CL=直近の終値  
LLV(n)=n期間中の最安値  
HHV(n)=n期間中の最高値  
MA=移動平均  
Simple=単純

## ボリンジャーバンド (BBAND)

---

$$\text{ボリンジャーバンド} = \text{MA}(\text{CL}, \text{Simple}, n) \pm m \times \text{SD}(\text{CL}, n)$$

n=期間  
m=標準偏差の値  
MA=移動平均  
Simple=単純  
SD=n期間の終値の標準偏差

## プライス・チャンネル ( CHANNEL )

---

上方バンド=HHV(HI, n)  
 下方バンド=LLV(LO, n)  
 HHV=n期間中の最高値  
 LLV=n期間中の最安値  
 n=期間(ただし、直近からではなく直前からの期間とする)

## エンベロープ ( ENVLP )

---

エンベロープUPバンド =  $MA(CL, Simple, n) \times (1 + \alpha)$   
 エンベロープLOWバンド =  $MA(CL, Simple, n) \times (1 - \alpha)$   
 MA=移動平均  
 CL=終値  
 Simple=単純  
 n=期間  
 $\alpha$  =比率

## サイコロジカル・ライン ( PSYCHOLO )

---

サイコロジカルライン(%) = 過去n日間の前日比高の日数の合計 ÷ n  
 過去n日間のうち、前日と比較して上昇した日数合計の割合

## 値動きサイコロジカル・ライン ( PRCPSYCHO )

---

値動きサイコロジカル(%) =  $A \div (A + B) \times 100$   
 A=n期間中で、前日比が値上がりした日の値上がり幅の合計  
 B=n期間中で、前日比が値下がりした日の値下がり幅の合計

## アロオン ( AROON )

---

AROONUP =  $100 \times (\text{Period} - \text{PeriodHigh}) / \text{Period}$   
 AROONDOWN =  $100 \times (\text{Period} - \text{PeriodLow}) / \text{Period}$   
 PeriodHigh = Number of bars since highest high of the Period  
 PeriodLow = Number of bars since lowest low of the Period  
 AroonOscillator = AroonUp - AroonDown

## ヒストリカル・ボラティリティ ( HVOL )

---

HVOL =  $m$ 期間中の標準偏差( $\sigma$ )  $\times \sqrt{n} \times 100$   
 $n$ =年間の営業日数(250)

ヒストリカルボラティリティ(HVOL)は、通常設定期間の標準偏差を年率換算してパーセンテージで表します。

## 順位相関係数 ( RCI )

---

$RCI = \{1 - [6 \times D \div (N \times (N^2 - 1))]\} \times 100$   
 D=計算期間の日付の順位と価格の順位の違いの合計  
 N=計算期間  
 $N^2$ =計算期間の2乗

日付の順位は、当日を「1」とし、以降計算期間の新しい日付から順に「2、3、4…」と番号をつけます。価格の順

の付け方は、計算期間の終値の中で最も高い値段を「1」とし、以降高い値段から順に「2、3、4…」と番号をつけます。

## 一目均衡表 ( ICHIMOKU )

---

転換線 = (過去9日間の高値+安値)÷2

基準線 = (過去26日間の高値+安値)÷2

先行スパン1 = {(転換値+基準値)÷2}を26日先にずらしたもの

先行スパン2 = {(過去52日間の高値+安値)÷2}を26日先にずらしたもの

遅行スパン = (本日の終値を26日前にずらしたもの)

## ピボット ( PIVOT )

---

P(ピボット) = (HI+LO+CL)÷3

HBOP(上方ブレイクアウトポイント) = 2P - 2LO + HI

LBOP(下方ブレイクアウトポイント) = 2P - 2HI + LO

B1 = 2P - HI

S1 = 2P - LO

B2 = P - HI + LO

S2 = P + HI - LO

CL = 前日の終値

HI = 前日の高値

LO = 前日の安値

## 利益曲線 ( PROFIT )

---

チャート上のシグナルで売買シミュレーションした時の損益累計の推移を表しています。

1ロットを売買したときに得られる損益の合計です。

## トレンドバー ( BAR )

---

オリジナルのテクニカル指標です。式は公開いたしておりません。

# シストレ365使用に関する注意事項

## ■ご利用されるパソコンの起動状態について

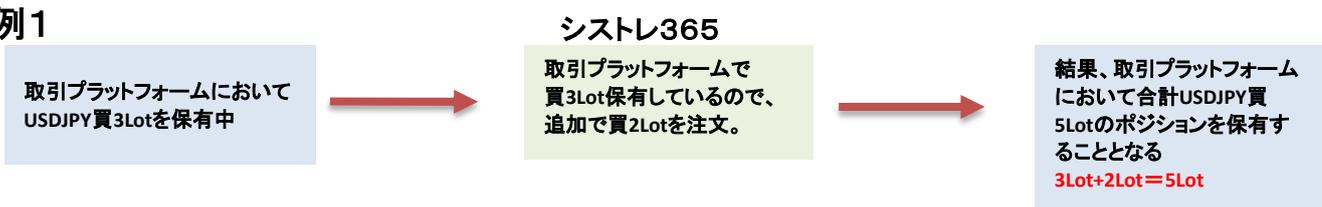
シストレ365はお客様のパソコンで動作致します。したがって、パソコン上のアプリケーションが動作しない状態になりますと、シストレ365が立ち上がっても動作致しません。パソコンのスリープモードなどでも動作致しませんので、パソコンの設定をご確認ください。またシストレ365と取引プラットフォームの接続が切れた際にメールをご送付する機能(「操作説明書②」P.49参照)がございますので、ご利用ください。

## ■ポジション保有時の動作

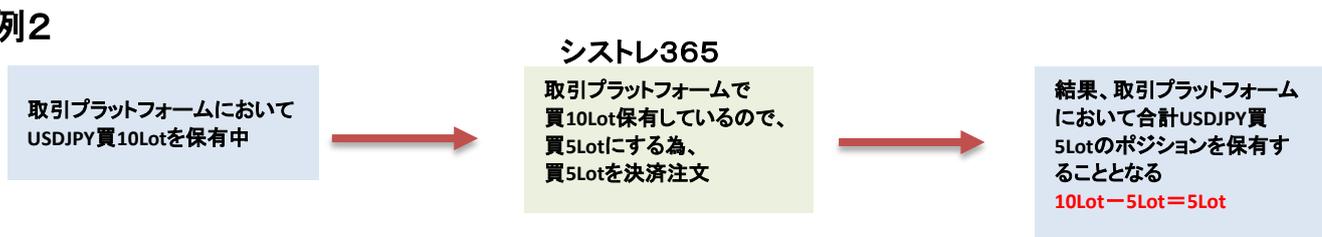
自動売買運転中は、設定された通貨ペアについてシストレ365(自動売買)の取引対象となります。その為、取引プラットフォームにおいてポジションを保有中にシストレ365(自動売買システム)でシグナルが発生した場合、シストレ365で設定されている内容が優先され、設定内容になるようポジションが調整されます。自動売買を一旦停止して、設定を変更して起動した場合や、取引プラットフォームで直接ポジションを建てた場合などシグナル発生でポジションが調整されてしまいますので、ご注意ください。

### 例 ポジション保有中にシストレ365でUSDJPY5Lotの買シグナルが出た場合 (自動売買設定がUSDJPYのみ)

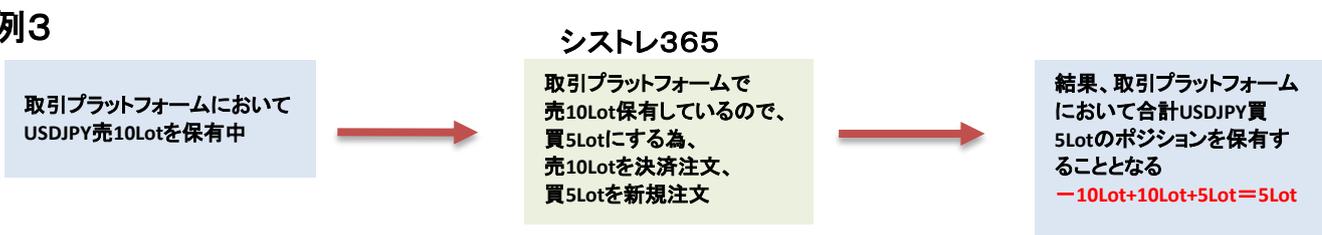
#### 例1



#### 例2



#### 例3



#### 例4



※ポジション調整される際に、保有していたポジションに対して指値注文等をご登録されている場合は  
取消されます。また新しい設定で利食い・損切り設定がされている場合は、調整された全てのポジション  
に利食い・損切りの注文が発行されます。

## ■注文不成立時の動作

「シストレ365」では、発注した注文が何らかの原因で不成立となった場合は、次の足が成立するまで1分間隔で注文が繰り返し発注されます。次の足が形成されますと売買シグナルは消滅し、当該シグナルは無効となります。

## ■プレオープン時の分析処理

「シストレ365」では、プレオープン時間中は、自動売買の分析が行われません。そのため、直前の終値でシグナルが出た場合は通常の実分析処理とは異なり、下記のようになります。

	シグナル分析タイミング	月曜日のプレオープン	火曜～金曜のプレオープン
10分足	毎時1分・11分・21分・31分・41分・51分に直前の足で分析します。	前週末の足をもとに分析され、付合せ開始時間(7:11)直後に分析及び注文が開始されます。 ※プレオープン時間は分析されません。	前日末の足をもとに分析され、付合せ開始時間(7:56)直後に分析及び注文が開始されます。 ※サマータイム適用時は6:56に開始されます。 ※プレオープン時間は分析されません。
30分足	毎時1分・31分に直前の足で分析します。	前週末の足をもとに分析され、付合せ開始時間(7:11)直後に分析及び注文が開始されます。 ※プレオープン時間は分析されません。	前日末の足をもとに分析され、付合せ開始時間(7:56)直後に分析及び注文が開始されます。 ※サマータイム適用時は6:56に開始されます。 ※プレオープン時間は分析されません。
1時間足	毎時1分に直前の足で分析します。	前週末の足をもとに分析され、付合せ開始時間(7:11)直後に分析及び注文が開始されます。 ※プレオープン時間は分析されません。	直前の足をもとに分析され、付合せ開始時間(7:56)直後に分析及び注文が開始されます。 ※サマータイム適用時は6:56に開始されます。 ※プレオープン時間は分析されません。
4時間足	1時・5時・9時・13時・17時・21時の1分に直前の足で分析します。	前週末の足をもとに分析され、付合せ開始時間(7:11)直後に分析及び注文が開始されます。 ※プレオープン時間は分析されません。	直前の足をもとに分析され、付合せ開始時間後(9:01)に分析及び注文が開始されます。 ※プレオープン時間は分析されません。
日足	月曜日は7時11分、火曜日～金曜日は7時56分に前日の足で分析します。 ※サマータイム適用時は6:56に分析されます。 ※上記時間は取引所の取引開始時間によって前後する場合がございます。	前週末の足をもとに分析され、付合せ開始時間(7:11)直後に分析及び注文が開始されます。 ※プレオープン時間は分析されません。	前日の足をもとに分析され、付合せ開始時間(7:56)直後に分析及び注文が開始されます。 ※サマータイム適用時は6:56に開始されます。 ※プレオープン時間は分析されません。
週足	月曜日の7時11分に、前週の足で分析します。 ※上記時間は取引所の取引開始時間によって前後する場合がございます。	前週の足をもとに分析され、付合せ開始時間(7:11)直後に分析及び注文が開始されます。 ※プレオープン時間は分析されません。	シグナル分析が行われません。

## ■シグナル発生時のフロー

### 例 USDJPYの買シグナルが出た場合



## ■利食い・損切りの設定

上記のようにシストレ365では、利食い・損切りの設定がされていて、シグナルが発生した場合、新規ポジションを建てた後に指値・逆指値の発注を致します。また、設定されたpip数は約定レートからのpip数ではなく、発注時のレートからのpip数となります。その為、場合によっては新規ポジション建てから指値・逆指値の発注に時間がかかった場合、希望の注文レートにならない場合がございます。ご了承ください。

また、既に保有しているポジションに同じシグナルが発生した場合も、指値・逆指値注文は取り消され、その時点の現在レートをもとに新たな指値・逆指値注文が設定されます。

## ■許容スリップの設定

シグナル発生時は、ストリーミング注文で発注がなされますが、シストレ365では許容スリップの設定はできません。(許容スリップとは、ストリーミング注文を行なおうとするレートと、実際に取引所に注文が届いた時点のレートとの乖離があった場合、許容できる範囲を設定する数値です。)

## ■過去データについて

シストレ365のチャート及びシミュレーション用の過去データは、2010年11月21日までFXブロードネット(OTC)のデータを使用しております。レートの値に若干の違いがあることをご了承ください。2010年11月22日取引所オープン時間以降のデータは取引所のレートを採用しております。

## ■ユーザーデータの送信

シストレ365ではお客様サポートの為、ユーザーID、ご使用のOS、ご使用のシストレ365のバージョン、システムログ等の情報をシステム提供元に送信しております。保守サービスに必要な情報となりますので、ご了承頂きますよう、お願い致します。

## ■シミュレーションについて

- (1) シミュレーションでの約定価格は全てBID(売)レートでの約定となります。本番環境ではスプレッド(BID、ASKの差)が存在しますので、収益が悪化致します。
- (2) シミュレーションではロスカット及び強制決済は考慮されておられません。  
その為、最終純資産がプラスになっていてもシミュレーションを実施した期間に大きな損失が出ている場合、実際の取引においてはロスカットや強制決済が執行される場合もございますのでご注意ください。
- (3) 設定されたシステムでは、ローソク足が完成した時点でシグナルが発生しますが、シミュレーションや本番での自動売買は、シグナルが発生した次の足の始値で売買執行いたしております。  
また、シミュレーションでは始値で売買成立いたしておりますが、本番での自動売買は、発注のタイミングによって、約定価格がシミュレーションと異なる場合がございます。

## ■シミュレーションの結果について

各システムのシミュレーション結果は当社所有の過去データに基づき計算した結果であり、将来の運用利益等を保証するものではありません。

また、シミュレーションの結果と実際の自動売買の結果は、必ずしも一致するものではありません。そのため、お取引の意思決定は最終的にはお客様ご自身の判断でお願いいたします。シミュレーションの結果と実際の自動売買でのお客様の運用結果が一致しない場合おきましても、当社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。